塗装仕様書

Ver. 23.9

株式会社アステックペイント

INDEX

施工上の注意事項						2
施工箇所	下地		既存塗膜	塗替え数※1	仕様	ページ
外壁・共用廊下・準外部	コンクリート・モルタル・ALC		一般塗料・仕上げ塗材 (リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材 (ジョリパット他))	塗替え回数は問わない	塗装	4
					遮熱	29
					低汚染遮熱	46
					低汚染遮熱弾性	69
			新設ALC	初めての塗替えの場合	塗装	72
					遮熱	85
					低汚染遮熱	94
					低汚染遮熱弾性	105
	窯業系サイディング		一般塗料 一般塗料クリヤー	塗替え回数は問わない	塗装	108
					遮熱	130
					低汚染遮熱	145
					低汚染遮熱弾性	165
			仕上げ塗材 (リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材 (ジョリパット他))	塗替え回数は問わない	塗装	168
					遮熱	193
					低汚染遮熱	210
					低汚染遮熱弾性	233
	金属サイディング	カラー鋼板 ガルバリウム鋼板 ステンレス アルミニウム	一般塗料 （下地調整後の錆の程度：錆なし･点錆程度）	塗替え回数は問わない	塗装	237
					遮熱	244
					低汚染遮熱	251
屋根	金属屋根	カラー鋼板 ガルバリウム鋼板 ステンレス アルミニウム	一般塗料 （下地調整後の錆の程度：錆なし･点錆程度）	塗替え回数は問わない	塗装	262
軒天・内装・準外部等			一般塗料	塗替え回数は問わない	塗装	266
付帯部施工の場合						269

※仕様は予告なしに変更する場合があります。

施工上の注意事項

①足場

・足場と塗装面との距離が近すぎると足場ムラが発生するおそれがあります。

②シーリング箇所

・シーリング材の上へ塗装が予定されている場合、密着不良や汚染することがありますので、
ノンブリードタイプのポリウレタン系または変成シリコーン系シーリング材を推奨します。

・既存シーリング材に劣化・ひび割れ等の損傷がある場合は、必ず打ち替えてください。

③下地

・下地の大きなひび割れ、欠損、目違い、豆板、浮き、そり、及び突起物等を補修し、平滑な状態にしてください。

・モルタル等で補修を行う場合、強度が出るまで十分に乾燥させてください。

・ボード面はあらかじめ十分に固定されていることを確認してください。

・カビや藻が繁殖している場合は、除去する等の適切な処理を行ってください。

・高圧洗浄等により、劣化し脆弱な塗膜、ゴミ、及び油脂分等を除去してください。

・下地は清浄で、十分に乾燥させた状態で施工してください。

・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、
必ず事前にシーラーを塗布してください。

④養生

・塗装が予定されていない箇所及び周辺を、マスカー等できちんと養生してください。
スプレー塗装の場合には、外囲いをする等周辺への飛散防止が必要です。

・陶磁器タイル面の洗浄が予定されている場合は、塗装面に洗浄剤が付着すると、変色や溶解
等の異常をきたすことがありますので、予め塗装面の養生を行ってください。

⑤塗装環境

・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。

⑥塗料の調整

・材料は規定の希釈率を厳守し、電動ミキサー等を用いて内容物が均一になるよう十分に撹拌してください。

・材料の希釈率は気温により変化することがあります。

・材料を希釈し過ぎると、隠蔽力不足やたれ、透け等の仕上がり不良・色別れ等の原因となりますので、注意してください。

・2液タイプの材料の場合、A液とB液を指定の比率で調合し、規定の希釈率を厳守し、電動ミキサー等で均一になる
ように十分に撹拌してください。また可使時間は温度・希釈等の条件によって変わりますので、混合後はなるべく
早く使いきってください。

⑦塗装

・下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

・下塗の塗布量及び、乾燥が不十分な場合に上塗の施工を行うと、フクレ、ハガレ、シワ、チヂミ等の不具合が
生じますので、十分ご注意ください。

⑧廃棄

・施工器具等の洗浄液が河川に流出したり土壌に染み込まないように処理してください。

製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【外壁・共用廊下・準外部】

コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材
(ジョリパット他))

【塗装仕様】

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰ AⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰ AⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材
(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材
(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ(清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ(清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ(清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10%（清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、 4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ(清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ(清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ(清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し,16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、 4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消）A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR　B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合 : 0～5% ｴｱﾚｽの場合 : 5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～ 1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～ 1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～ 1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合 : 0～5% ｴｱﾚｽの場合 : 5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上7日以内	3時間以上7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上7日以内	3時間以上7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、 4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し,16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、 4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し,16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材
(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材
(ジョリパット他))

【低汚染遮熱弾性仕様】

コンクリート・モルタル・ALC
(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC
(既存塗膜: 一般塗料・仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（弾性） A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

【塗装仕様】

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合：— 白の場合：0.75～1.5ℓ（清水）	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

【遮熱仕様】

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合：— 白の場合：0.75～1.5ℓ（清水）	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合：— 白の場合：0.75～1.5ℓ（清水）	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

【低汚染遮熱仕様】

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌（2分以上）してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌（2分以上）してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ(清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ(清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ(清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（艶消）A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（艶消）A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC

(新設ALC)

【低汚染遮熱弾性仕様】

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

コンクリート・モルタル・ALC（新設ALC）【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（弾性）A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「超低汚染リファイン弾性MS-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

【塗装仕様】

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: —	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
				白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)						
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

【遮熱仕様】

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合： — 白の場合： 1.5～3.0ℓ （清水）	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ（清水）	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ（清水）	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ（清水）	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
（既存塗膜：一般塗料・一般塗料クリヤー）【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

【低汚染遮熱仕様】

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて下塗は下地の状態により1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上7日以内	3時間以上7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合:0～5% ｴｱﾚｽの場合:5～10%(清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%(清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間 以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間 以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間 以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 一般塗料・一般塗料クリヤー)

【低汚染遮熱弾性仕様】

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ(清水)	0.80～1.5kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ(清水)	0.30～0.60kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ(清水)	0.70～1.2kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（弾性）A液	15kg	15	0～3%(清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（弾性）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	弾性ｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合：— 白の場合：0～3%（清水）	0.10～0.15 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（弾性）A液	15kg	15	0～3%（清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「弾性エポシーラー」を、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.10～0.15kg/㎡塗布する。
※「弾性エポシーラー(透明)」は原液、「弾性エポシーラー(白)」は清水0～3%を加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（弾性）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ｽｰﾊﾟｰﾗｼﾞｶﾙ ｼﾘｺﾝGH	16kg	—	0.8～1.6ℓ	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「スーパーラジカルシリコンGH」16kgに清水0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。

※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
- 下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 工程間は、2時間以上(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 工程内は、2時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【塗装仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質 ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他)
)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合 ： 0～5% ｴｱﾚｽの場合 ： 5～10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰ AEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～ 0.60 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間 以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5～3.0ℓ (清水)	0.13～ 0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS- IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS- IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～ 0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS- IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% (清水)	0.25~0.3 5 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS- IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エポパワーシーラー(透明)」は原液、「エポパワーシーラー(白)」は清水1.5～3.0ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エポパワーシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エポパワーシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上 5日以内	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰ JY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
- 可使時間は4時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY A液	12.5kg	5	—	0.08～0.15 kg/㎡ ※吸込みの多い下地の場合：0.15～0.34 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰｼｰﾗｰJY B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「エポパワーシーラーJY」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.08～0.15kg/㎡、吸込みの多い下地の場合0.15～0.34kg/㎡を塗布する。
・可使時間は4時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間 以上 7日以内	3時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
・可使時間は2時間以内(20℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ A液	12.5kg	5	—	0.15～0.30 kg/㎡	1～2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｻｰﾓﾃｯｸｼｰﾗｰ B液	2.5kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「サーモテックシーラー」のA液とB液を5:1の比率で調合し、原液でローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで、0.15～0.30kg/㎡塗布する。
- 可使時間は2時間以内(20℃)とする。
- 工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
- 工程間は、3時間以上7日以内(25℃)とする。

※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ[※1]を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡[※2]塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMF-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:一般塗料・一般塗料クリヤー)【低汚染遮熱仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗①	ｴｸｾﾙｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	白の場合: 0.75～1.5ℓ (清水)	0.13～0.20 kg/㎡	1～2	2時間 以上	2時間 以上	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
下塗②	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝSi-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗①
・「エクセルエポシーラー」15kgを、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.13～0.20kg/㎡塗布する。
※「エクセルエポシーラー(透明)」は原液、「エクセルエポシーラー(白)」は清水0.75～1.5ℓを加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。
※「エクセルエポシーラー」を使用したローラーやバケットは十分に洗浄してください。
また「エクセルエポシーラー」の空缶に他の塗料を入れないでください。成分が残っているとゲル化する場合があります。

3.下塗②
・「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡ ※2 塗布する。
・工程間は5時間以上(25℃)とする。
※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

4.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング

(既存塗膜: 仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))

【低汚染遮熱弾性仕様】

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾋﾟﾃｯｸﾌｨﾗｰAEⅡ	16kg	—	0.3～0.6ℓ(清水)	0.80～1.5kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ(清水)	0.30～0.60kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ(清水)	0.70～1.2kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR（弾性）A液	15kg	15	0～3%(清水)	0.30～0.40kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「エピテックフィラーAEⅡ」16kgに、清水0.3～0.6ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/㎡※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMS-IR（弾性）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔（25℃）			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ﾎﾜｲﾄﾌｨﾗｰAⅡ	16kg	—	0.3～0.9ℓ (清水)	0.80～1.5 kg/㎡	1	—	5時間以上	—	多孔質ﾛｰﾗｰ
				0.9～1.2ℓ (清水)	0.30～0.60 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ｳｰﾙﾛｰﾗｰ
				0.6～0.9ℓ (清水)	0.70～1.2 kg/㎡	1~2	5時間以上	5時間以上		ﾘｼﾝｶﾞﾝ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR (弾性) A液	15kg	15	0～3% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝMS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
- 「ホワイトフィラーAⅡ」16kgに、清水0.3～0.9ℓ※1 を加えて均一な塗料にして、多孔質ローラーを用いて1回塗りで0.80～1.5kg/ ㎡※2 塗布する。
- 工程間は5時間以上(25℃)とする。

※ ウールローラーの場合清水0.9～1.2ℓ、リシンガンの場合清水0.6～0.9ℓ
※ ウールローラーの場合0.30～0.60kg/㎡、リシンガンの場合0.70～1.2kg/㎡
※既存塗膜の劣化が著しい場合、事前にシーラーを塗布することをお勧めします。

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMS-IR（弾性）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

窯業系サイディング
(既存塗膜:仕上げ塗材(リシン・吹付タイル・スタッコ・意匠性塗材(ジョリパット他))
【低汚染遮熱弾性仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	弾性ｴﾎﾟｼｰﾗｰ	15kg	—	透明の場合：— 白の場合：0～3%（清水）	0.10～0.15 kg/㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（弾性）A液	15kg	15	0～3%（清水）	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

1.下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2.下塗
・「弾性エポシーラー」を、ローラー又はエアレススプレーを用いて1～2回塗りで0.10～0.15kg/㎡塗布する。
※「弾性エポシーラー(透明)」は原液、「弾性エポシーラー(白)」は清水0～3%を加えて使用する。
・下地の吸い込みが著しい場合には、再塗布を行う。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・工程間は、2時間以上(25℃)とする。
※下塗は下地の状態により塗布量が異なる場合があります。微光沢が出るまで十分に塗布してください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（弾性）」のA液とB液を15:1の比率で調合し、清水を0～3%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

金属サイディング
(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度:
錆なし・点錆程度
【塗装仕様】

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾌｯ素REVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。
（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、
ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。
（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、
ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度:
錆なし・点錆程度
【遮熱仕様】

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾌｯ素REVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。
（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックフッ素REVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、
ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸ ｼﾘｺﾝREVO-IR	15kg	—	ﾛｰﾗｰの場合： 0～5% ｴｱﾚｽの場合： 5～10% （清水）	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。
（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「ビルドテックシリコンREVO-IR」15kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度:
錆なし・点錆程度
【低汚染遮熱仕様】

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4 kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰ DX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6k g	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% (清水)	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰ DX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰ DX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・**施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。**

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰ DX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10% （清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ（ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX）	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上 5日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MF-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3.上塗
・「ビルドテックリファインMF-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上5日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR A液	15kg	15	ﾛｰﾗｰの場合: 0～5% ｴｱﾚｽの場合: 5～10% (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	4時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ Si-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。
（アルミニウム下地を除く）
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・**施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。**

3.上塗
・「ビルドテックリファインSi-IR」のA液とB液を15:1の比率で調合し、16kgに清水をローラーの場合0～5%、
エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
・工程内は、4時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。
※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合･撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属サイディング
（カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム）
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度【低汚染遮熱仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ（ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX）	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
上塗	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR（艶消） A液	13kg	13	ﾛｰﾗｰの場合：0～5% ｴｱﾚｽの場合：5～10%（清水）	0.25~0.35 kg/㎡	2	4時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾋﾞﾙﾄﾞﾃｯｸﾘﾌｧｲﾝ MS-IR B液	1kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 残錆部または発錆は著しいが十分にケレンが出来ない部分は、浮き錆を除去し、残錆部にラス・トレイントを塗布してください。（アルミニウム下地を除く）
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

2．下塗
- 「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
- 工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
- 全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
- **施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。**

3.上塗
- 「ビルドテックリファインMS-IR（艶消）」のA液とB液を13:1の比率で調合し、14kgに清水をローラーの場合0～5%、エアレスの場合5～10%加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
- 可使時間は4時間以内(25℃)、2時間以内(35℃)とする。
- 工程内は、4時間以上(25℃)とする。
- 施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

※B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
※B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
※二液型塗料ですので、使用する前に塗料を電動撹拌機等で十分に混合・撹拌(2分以上)してください。
混合比率が不適切であったり、混合時間が不十分ですと、低汚染機能が発揮出来ません。
※二液型塗料ですので、 混合・撹拌後は可使時間以内に使い切ってください。
※施工部位によって低汚染機能が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。特に雨が当たらない部位は注意が必要です。

【注意】
- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

【屋根】

金属屋根
(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)

(既存塗膜: 一般塗料)

下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度
【塗装仕様】

金属屋根(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度　【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｻｰﾓﾃｯｸﾒﾀﾙ ﾌﾟﾗｲﾏｰ	16kg	—	0.8～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY A液	12kg	6	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.25～0.35 kg/㎡	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

2．下塗
・「サーモテックメタルプライマー」は、アステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合し、14kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は４時間以内(25℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・溶剤系塗料では火災・中毒等のおそれがあるため、保管・取扱いには十分に注意してください。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属屋根(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度　【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY A液	12kg	6	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.25～0.35 kg/㎡	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

2．下塗
・「エポパワーメタルJY」のA液とB液を9:1の比率で調合し、16kgにアステックシンナーDX 0.8～2.4ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.14～0.17kg/㎡塗布する。
・可使時間は、5時間以内(23℃)とする。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

3．上塗
・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合し、14kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は４時間以内(25℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・溶剤系塗料では火災・中毒等のおそれがあるため、保管・取扱いには十分に注意してください。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

金属屋根(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度　【塗装仕様】

工 程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY A液	12kg	6	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.25～0.35 kg/㎡	2	3時間 以上 7日以内	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｼﾘｺﾝﾌﾚｯｸｽJY B液	2kg	1							

※2回目以降の塗替えは、既存塗膜からの膨れ・剥離の可能性が高くなるため、
電動工具を用いて、脆弱な塗膜及び錆を除去してから下塗りを塗装してください。

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

2．下塗
・「一液エクセルエポプライマーJY」16kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、16時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。
・施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすぼまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

3．上塗
・「シリコンフレックスJY」のA液とB液を6:1の比率で調合し、14kgにアステックシンナーDX 0～2ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて２回塗りで、0.25～0.35kg/㎡塗布する。
・可使時間は、４時間以内(25℃)とする。
・工程内は、3時間以上7日以内(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・溶剤系塗料では火災・中毒等のおそれがあるため、保管・取扱いには十分に注意してください。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
・トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

軒天・内装・準外部

(既存塗膜: 一般塗料)

【塗装仕様】

軒天・内装・準外部
(既存塗膜: 一般塗料)【塗装仕様】

工 程	製 品 名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工 程 内	工 程 間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏﾙﾁｴｰｽⅡ	16kg	—	0.3～1.3ℓ (清水)	0.30～0.40 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

金属面処理 **※金属面等がある場合**

プライマー
・錆が発生している場合は、2種ケレンまで除錆する。
・「サーモテックメタルプライマー」にアステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

2．上塗
・「マルチエースⅡ」は、16kgに清水0.3～1.3ℓを加えて均一な塗料にして、ローラーを用いて２回塗りで、0.30～0.40kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

軒天・内装・準外部
(既存塗膜: 一般塗料)【塗装仕様】

工 程	製 品 名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工 程 内	工 程 間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏﾙﾁｴｰｽⅡ-JY	16kg	—	0～1.6ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.26～0.32 kg/㎡	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ

1．下地調整
・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

金属面処理 **※金属面等がある場合**

プライマー
・錆が発生している場合は、2種ケレンまで除錆する。
・「サーモテックメタルプライマー」にアステックシンナーDX 0.8～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラー又はエアレススプレーを用いて1回塗りで、0.13～0.15kg/㎡塗布する。
・工程間は、4時間以上7日以内(25℃)とする。
・全面塗装前に素地露出部分のみ刷毛等により塗装する。

2．上塗
・「マルチエースⅡ-JY」は、16kgにアステックシンナーDX 0～1.6ℓを加えて均一な塗料にして、ローラーを用いて２回塗りで、0.26～0.32kg/㎡塗布する。
・工程内は、2時間以上(25℃)とする。
・施工後24時間は養生し、施工面に立ち入らない。

【注意】
・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
・使用する前に塗料を十分に撹拌してください。
・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
・ウールローラー施工の場合、上塗の塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
・上記塗布量及び塗回数は、下地の材質・状態等で増える場合があります。
・既存塗膜の劣化が著しい場合、または既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
・塗り継ぎや補修塗り（タッチアップ）を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

付帯部(鉄部)施工の場合
下地調整後の錆の程度：錆なし・点錆程度

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500U-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(錆の発生が著しい場合は、十分な下地調整を行った上で、錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500F-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

付帯部(鉄部)施工の場合
下地調整後の錆の程度：残錆が多い

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500U-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	一液ｴｸｾﾙｴﾎﾟﾌﾟﾗｲﾏｰJY	16kg	—	0～2ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.13～0.15 kg/㎡	1	—	4時間 以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500F-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間 以上	—	24時間 以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

付帯部(貯水槽)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液 (黒色推奨)	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500U-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液 (黒色推奨)	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY A液 (黒色推奨)	14.4kg	9	0.8～2.4ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.14～0.17 kg/㎡	1	—	4時間以上 7日以内	—	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ｴﾎﾟﾊﾟﾜｰﾒﾀﾙJY B液	1.6kg	1							
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500F-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

付帯部(硬質塩ビ)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500U-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ(金属面には錆止め等の下塗材を使用してください)									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500F-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液	1.5kg	1							

付帯部(木部)施工の場合

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500U-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500Si-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	ｼｰﾗｰﾚｽ									
上塗	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500F-JY A液	13.5kg	9	0～1.5ℓ (ｱｽﾃｯｸｼﾝﾅｰDX)	0.24～0.28 kg/㎡	2	3時間以上	—	24時間以上	ﾛｰﾗｰ/ｴｱﾚｽ
	ﾏｯｸｽｼｰﾙﾄﾞ 1500-JY B液 (弾性)	1.5kg	1							

※木部の上に塗装する際には弾性用硬化剤をご使用ください。

株式会社アステックペイント

本社:〒812-0013
福岡市博多区博多駅東3-14-1
T-Building HAKATA EAST 9F
TEL:092-626-7776　　FAX:050-3730-9844

福岡営業所	〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8 TEL:092-626-7776	東京営業所	〒102-0071 東京都港区浜松町2-2-12 JEI浜松町ビル1F TEL:03-4500-6350
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3 B1F TEL:06-6305-3115	沖縄営業所	〒 901-2201 沖縄県宜野湾市新城2-39-3-102 TEL:050-5846-1003

https://astecpaints.jp/